

福音バプテスト宣教団

JAPAN FREE WILL BAPTIST

カテキズム CATECHISM

● フリー・ウィル・バプテスト (Free Will Baptist) は、福音バプテスト宣教団の海外における英語の団体名称です。

はじめに

カテキズムとは？

カテキズムとは、キリスト教の「神と聖書」に関する真理を教えるための問答形式の教本です。

カテキズムという言葉の語源は、ギリシャ語の「教える」という意味の言葉です。新約聖書がもともとはギリシャ語で書かれているのでギリシャ語を語源とした言葉を用いています。

カテキズムは古くから教会で使われてきた歴史があり色々な種類があります。

そして子供たちにも「聖書が伝える神さま」について教えるために多くの家庭でも使用されてきました。カテキズムの有用性に鑑み、ここに60の問答からなるフリー・ウィル・バプテストのカテキズムを作成しました。

※日本語翻訳においては、日本語文化圏の方々が理解しやすいよう、原文に配慮しつつも、原文の直訳では賄いきれない多くの難解語句や誤解しやすい表現について諸先生方から意見を伺い、特に注意しながら注釈や補足等を用い聖書の基準に照して翻訳させていただきました。

問1 神とはどんなお方か。

神とは、全ての造り主であり霊的な存在です。(創世記 1:1)
神は、完全で慈しみ深く、善良な方(詩篇 34:8)であり、力に満ちておられます。(イザヤ 40:10)。
神はご自身で考え、働かれ、感情をお持ちであり、御言葉を発することのできる神格(人間の人格にあたるもの)をお持ちの方です。

問2 ほかに神はいるのか。

いいえ。聖書が啓示する神だけが唯一の神であり(申命記 6:4)、三位一体の神として存在されています。
三位一体とは、一人の神でありながら、父なる神、子なる神、聖霊(御霊)なる神という三つの神格(位格)を持つということです。(マルコ 1:9-11)

問3 神はいつから存在していたのか。

神は初めから存在され、そして常に存在されています。(創世記 1:1)
神は、誰にも頼らず唯一(ご自身の力だけで)自己存在される方です。

問4 三位一体の三つの神格、父・子(御子)・聖霊(御霊)には、どういう関係性があるか。

三つの神格は、それぞれが互いに一つの愛の関係の中にあります。(ヨハネ 14:31、17:26、ガラテヤ 5:22)
三つの神格は対等(上下がない)ですがそれぞれ異なる役割を持っています。(マタイ 28:18-20)。
※「神格」は「位格」とも訳されます。

問5 父なる神の役割とは何か。

父なる神は、子なる神を愛されています。(ヨハネ 3:35)。

この世とそこにあるすべての物を摂理の中で御心により養ってくださっています。(マタイ 6:26)。

そのために(人の)子としてこの世にこられた神、イエスを人々に啓示し、思い起こさせて、人を神の御もとに招き寄せられます。(ヨハネ 6:44)。
人の祈りに耳を傾け、御心によって応答されます。(詩編 3:4、6:9)

聖霊なる神を遣わして(ヨハネ 14:26) クリスマスの内に住まわれ、悪魔から守り(ヨハネ 10:29)、神の働きのためにお遣わしになられます。(ヨハネ 20:21、ガラテヤ 2:19-20、コロサイ 1:27)

問6 子なる神(キリスト)の役割とは何か。(子なる神 ⇒ 人の子の姿で来られたキリストのこと。マタイ 9:6)

子なる神は、人々に罪の赦しを与え、人々を罪から救うために来られました。(マタイ 9:6、18:11)
また、この世の終わりの時の全人類の裁きの権威が、子なる神(キリスト)に委ねられています。(ヨハネ 5:22)

問7、聖霊なる神の役割とは何か。

聖霊なる神は、人々に、イエスの真実さや真理を照らし(ヨハネ 16:8)、人間が神の前に罪人(つみびと)であることを認めさせます。
聖霊なる神は、キリストに信頼し信じる者を新しく生まれ変わらせます。(ヨハネ 3:5-6)。

人がキリストを信じてクリスマスになると、その人の内に住まわれ、その人が聖い生き方をするのを助けてくださいます。(ローマ 8:9)。
父なる神の前にその人をとりなして下さいます。(ローマ 8:26)。

問8 人は、どのようにして神を知ることができるのか？

神のみことばである「聖書」を通して、人は神を知ることが出来ます。特に人(子なる神)として来られたイエスのあらゆる証しを通して、神を知ることが出来ます。(ヨハネ 1:18)
さらに私達人間は、自然界のあまりの素晴らしさを通して、その造り主である神を悟ることが出来ます。

(詩篇 19:1-4)
神の似姿に基づいて造られた私達人間を通して、神を悟ることが出来ます。(創世記 1:27)

問9 聖書とは何か。

聖書は、神の靈感によって私達人間へ語られた、誤りの無い神様からのメッセージです。(IIテモテ 3:16、詩編 33:4、詩編 119:16、Iペテロ 1:24-25、2ペテロ 1:21)
どのような事であれ聖書が語っている真理は真理であり、偽りや誤りだと告げている事柄は、偽りであり誤りです。(ヨハネ 17:17)。
聖書は、旧約聖書の39巻と新約聖書の27巻、計66巻の書物から成り立っています。

※(参考聖句)
(テトス 1:2、詩編 30:5、エペソ 4:25、ヨハネ 8:44、Iコリント 6:9-10)

問10 旧約聖書には、どんな書物があるのか。

旧約聖書の39巻は、順に次の通りである。
創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記、ヨシュア記、士師記、ルツ記、第一サムエル記、第二サムエル記、第一列王記、第二列王記、第一歴代誌、第二歴代誌、エズラ記、ネヘミヤ記、エステル記、ヨブ記、詩篇、

箴言、伝道(者)の書、雅歌、イザヤ書、エレミヤ書、哀歌、エゼキエル書、ダニエル書、ホセア書、ヨエル書、アモス書、オバデヤ書、ヨナ書、ミカ書、ナホム書、ハバクク書、ゼパニヤ書、ハガイ書、ゼカリヤ書、マラキ書。

問11 新約聖書には、どんな書物があるのか。

新約聖書の27巻は、順に次の通りである。

マタイによる福音書、マルコによる福音書、ルカによる福音書、ヨハネによる福音書、使徒の働き、ローマ人への手紙、コリント人への手紙第一、コリント人への手紙第二、ガラテヤ人への手紙、エペソ人への手紙、ピリピ人への手紙、コロサイ人への手紙、テサロニケ人への手紙第一、テサロニケ人への手紙第二、テモテへの手紙第一、テモテへの手紙第二、テトスへの手紙、ピレモンへの手紙、ヘブル人への手紙、ヤコブの手紙、ペテロの手紙第一、ペテロの手紙第二、ヨハネの手紙第一、ヨハネの手紙第二、ヨハネの手紙第三、ユダの手紙、ヨハネの黙示録。

問12 聖書は誰が書いたのか。

聖霊に導かれ動かされた人たちによって書かれました(Ⅱペテロ 1:21)。

問13 受肉とは何か。

受肉とは、神が人間の肉体を持ちこの世に御子となって来られたことであり、処女マリヤより生まれ、イエス(救い主)と名づけられました。(マタイ 1:23)。

問14 イエスは部分的に人間で、部分的に神なのか。

いいえ。

イエスは完全な人間でありつつ(Ⅰテモテ 2:5)、同時に完全な神であられ(ヨハネ 1:1)、神としてのご性質(本性)も人間としての性質(本性)も兼ね備えておられます。

問15 私達人間と、神との関係(交わり)はどんな状態か。

すべての人は神のイメージ(似姿)に造られています。しかし残念ながら、アダムの墮罪によりすべての人は生まれた時から罪の本性(原罪)を持つようになり、神の御前では裁かれる者となりました。神から霊的に離され、死んでいる(交わりを持つことが出来ない)状態です。(エペソ 2:1-3)

問16 聖書が教える罪とは何か。

罪とは、神様の掟に逆らうことです。(Ⅰヨハネ 3:4)

問17 聖書は、イエスが十字架で死んだ理由は何だと教えているか。

イエスは、すべての人が罪からあがない出されて、神様の前に赦しを受け聖別されるために、十字架で死なれました。(Ⅰペテロ 1:18-19) 十字架の死を通して、神の怒りと罪の裁きを私たちの代わりにお受けにられました。(イザヤ 53:5-6)。

問18 イエスが死んで葬られた後、何が起きたのか。

十字架での死から三日目に墓の中からよみがえり、もう二度と死ぬことはない(ルカ 24:1-8)。このことを、イエス・キリストの「復活」と呼びます。

問19 イエスは今どこにいるのか。

イエスは復活から40日後に天に戻られ(使徒の働き 1:1-3)、父なる神の右の座に着き、今も生きて働いておられます(コロサイ 3:1、使徒 17:24-28)

問20 人はどのように神からの罪の赦しを体験できるのか。

私達人間(人)は、神様の前に罪を認めて悔い改め、主(イエス)に従って生きていくという信仰の誓い(告白)を通して、罪が赦され救われることが出来ます。(Ⅰヨハネ 1:9、ローマ 10:9、10、エペソ 1:7)

問21 悔い改めることとは。

罪の悔い改めとは、罪を振り捨てて、神の方に向き直すことです。(エゼキエル 18:30)。

問22 義認とは何か。

義認とは、神様がその人の罪を赦したと宣言し神との関係が義(ただ)しくなった、と認められたことです。(ローマ 5:1) 私達がこのキリストに信仰を置くなら、本来私達が支払うべき神への負債をキリストが代わりになって負われ(贖われ)たので、私達は払う必要がなくなり、罪の死とキリストにある義(ただ)しい命とが私達のものとなります。(ローマ 3:21-25、Ⅱコリント 5:21、ガラテヤ 2:20)

問23 聖書が教える新生とは。

聖書が教える新生とは、罪を悔い改めてキリストの贖いを信じた者に、神の

恵みによって霊的な新しい命を授けるという神の業です。(エペソ 2:1-5、テトス 3:5、Ⅱコリント 5:17)

問24 聖化とは何か。

聖化とは、人が新しいキリストの命に預かり、またキリストに従って生き始めた時に、人が人でありつつも新しいキリストの聖なる性質や似姿に変えられていく、変化(過程)のことであり、キリストを信じた時にはじまり、生涯を通して深められていく信仰の成長の過程のことです。

(Ⅰテサロニケ 5:23、エペソ 4:23-24)

問25 一度救われた人が救いを失ってしまう状態に戻ることも可能なのか?

はい。クリスチャンは、神様が守ってくださる御力を味わうようにされていますが(ヨハネ 10:28)、あまりにも罪に留まり囚われて、神のもとに戻らせようとさせる御力をも拒絶し、神に対して心を頑なにする時、一度キリストを信じて与えられた信仰を喪失してしまうことはあり得ます。

(Ⅰヨハネ 5:16-21) このように聖霊を汚す罪の中に自ら進んで留まっている状態にある人は、生涯にわたって救いを得る希望がありません。(ヘブル 6:4-6、ヘブル 10:26、マタイ 12:31)

問26 洗礼(バプテスマ)とは何か。

洗礼(バプテスマ)とは、イエスが命じられたように、クリスチャンとされた者が、父、子、聖霊の御名によって、その全身を水に浸すことです。(マタイ 28:19)

※(補足)福音バプテスト宣教団及び、世界各国の Free will Baptist の教会では、基本的に全身を水に沈めて授ける洗礼のスタイルをとっています。さらに日本国内の団体教会においては病床にある方への洗礼、他団体からの転入など、イエス・キリストを信じる信仰において授けられた滴礼(てきれい)による洗礼も、否定されることはありません。

問27 なぜ洗礼(バプテスマ)を受けるのか。

洗礼(バプテスマ)は、クリスチャンとされた者が、イエスのことばや導き、そして神に従って歩んで行く決意を、神の前や他者に示し証しするためのものです。

問28 洗礼は何を象徴しているのか。

洗礼(バプテスマ)は、信じた者と、キリストの死と復活とが結ばれたことを象徴し(ローマ6:1-4)、また信じた者のその罪が洗い流されたことを象徴しています。(使徒22:16)。

問29 教会とは何か。

教会は、神が人に霊的な養いや健全な信仰の成長のために与えられたクリスチャンの共同体です。キリストの救いを中心に共に集い(ヘブル10:25)神を礼拝し、みことば(聖書)を聞き、学び、教え、祈り(ローマ16:25)、そして、互いに仕え合い、信仰を支え合い(マタイ18:15-17)、未信者に対しては証人としての役割を果たす(1テサロニケ1:8)、地域に立てられた神様のいのちに溢れる公堂の共同体です。(1テサロニケ1:8、ヘブル10:25、使徒13:2)

※(補足)教会についての諸箇所。
・キリストのからだとしての教会(エペソ1:23、エペソ4:12-16)
・信仰の成長の為(エペソ4:12-16)
・集い、集まり「エクレシア」
・分かち合い、交わり「コイノニア」(マタイ18:20、Iコリント1:9)

問30 キリスト教会の基本的な任務は何か。

教会では、牧師や教師が語るみことばの説教を中心として会衆を導く責任を担っています。(Iテモテ3:1-7)教会の働きを支える執事(信徒責任者)もまた、牧師や人々をよく助け、信仰に立って教会員の模範となる敬虔な人が務めることが望まれます。(Iテモテ3:8-13)

問31 聖餐式とは何か。

聖餐式は、イエス・キリストが私達の罪の代わりとなって十字架に架かり、体を割かれ、血を流されて死なれたことにより罪が赦されたことを覚えるために、クリスチャン達もパンを割いて分かち、また流された血を覚えながら葡萄汁を分かち飲む、主が定められた記念の儀式です。(Iコリント11:29-30)

問32 聖餐にあずかるべき人とは、どんな人か。

イエスキリストによる贖いを信じ救われた人だけが、聖餐にあずかることができます。(Iコリント11:29-30)

問33 洗足式とはどんな儀式か。

洗足式は、イエス自身が弟子たちの足を洗われたことを思い出し、信仰者たちに主の謙遜を教え、日々罪が洗わ

れ続けていることを覚えながら、聖い生活を送らせるためのものです。(ヨハネ13:2-17)

※(補足)聖礼典について。
この様な、目に見えない神の救いの恵みを目に見える形で証しするためにイエス・キリストを通して制定された儀式は「聖礼典」と呼ばれ、教会行事の中でも特に大切にされる儀式です。プロテスタントでは「洗礼」と「聖餐式」をとり行う教団・教派がほとんどです。さらに福音バプテスト宣教団では「洗足式」も聖礼典としています。「洗足式」は、受難週の木曜日(洗足木曜日)に行われています。

問34 祈りとは何か。

祈りとは神様に話すことです。

問35 人は死ぬとどうなるのか。

人は地上の生涯を終えたあと、その人の霊魂は天国(ピリピ1:23)か、地獄(ルカ16:22-23)のどちらかへ行くこととなります。

問36 人が死ぬとその人の肉体はどうなるのか。

人が地上の生涯を終えた時(後)人の肉体は地上に残される。(土に返される。)イエスが再び地上に戻って来られる(再臨)時、死者は(霊的な朽ちない)新しいからだでよみがえり、霊魂と再び一体となります。(ヨハネ5:28-29、ダニエル12:2、Iコリント15:42-49、51-52、IIコリント5:1-4)

問37 天国とはどんな所か。

天国には神様の王座があり、特別な臨在にあふれている場所です。(詩篇11:4)神の民とされた人々が完全な喜びと至福の中でいつまでも(永遠に)神様と共に過ごせる場所です。(IIコリント5:1-5)

問38 地獄とはどんな所か。

地獄とは、罪を行いイエスを拒絶し続けてきた人々が神から引き離され、厳しい罰を受けていつまでも(永遠に)苦しまなければならない場所です。(マルコ9:43-4、黙示録21:8)

問39 イエスは再び地上に戻って来るのか。

はい。イエスは、父なる神が定められた時に、輝かしい栄光を帯びて地上に戻って来られます。(ヘブル9:28、ルカ25:27)イエスはその時、すべてのクリスチャンを天の御国に連れ帰られ永遠のいのちに迎え入れられます。また信じない人は、みな永遠の裁き(地獄)に落ちることとなります。(マタイ25:31-46)

問40 十戒は聖書のどこに書いてあるのか。

「十戒」は、出エジプト記の20章と申命記の5章に書かれています。

問41 第一戒とは何か。

「あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。」という戒めです。

問42 第一戒のことばの意味は？

はじめのことば（第一戒）は、聖書が啓示する真実の神のみが、神として礼拝され賛美を受けるべき存在であり、私達人間は他のものを礼拝しないように、と命じています。

問43 第二戒とは何か。

「あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。」という戒めです。

問44 第二戒のことばの意味は？

第二戒は、真の神を礼拝するのに、いかなる偶像を使ったり造らないように、そしてそのような偽物を神として礼拝しないように、と命じています。

問45、第三戒とは何か。

「あなたは、あなたの神、主の御名をみだりに唱えてはならない。」という戒めです。

問46、第三戒のことばの意味は？

第3戒は、神様の御名を用いる時には、いつも敬意と畏れを持ち、汚すことがないように、と命じています。

問47、第四戒とは何か。

「安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ。」という戒めです。

問48、第四戒のことばの意味は？

第四戒は、七日間のうち一日を特別に神を礼拝する日に定め、他の六日間とは区別しなさいと命じています。キリストが救いを完成された今は、復活された日を記念し、日曜日（週の初めの日）を安息日として覚え、礼拝しています。

問49 第五戒とは何か。

「あなたの父と母を敬え。」という戒めです。

問50 第五戒のことばの意味は？

第五戒は、親に対して相応しい敬意と従順をもって接しなさい、と命じています。同様に、正しく置かれた目上の方々に對しても相応しく従い、そして敬意を示すようにと命じています。

問51 第六戒とは何か。

「殺してはならない。」という戒めです。

問52 第六戒のことばの意味は？

第六戒は、人のいのちが神聖であり尊いことを教えています。人間の営みにある全ての法律を用いても、自分の命やまた他人の命は守られるべき尊い神聖なものです。殺人に関わることは本当に愚かな悪です。

問53、第七戒とは何か。

「姦淫してはならない。」という戒めです。

問54、第七戒のことばの意味は？

第七戒は、結婚の誓約は神聖なものであり、性的不純から守りなさいと教えています。そして夫婦はお互いに忠実で誠実であるべきです。

問55、第八戒とは何か。

「盗んではならない。」という戒めです。

問56 第八戒のことばの意味は？

第八戒は、個人の所有物（財産）も、また尊重されるべきであり、どんな理由や手段でも侵してはならないと教えています。

問57 第九戒とは何か。

「あなたの隣人に対して、偽りの証言をしてはならない。」という戒めです。

問58 第九戒のことばの意味は？

第九戒は、いつも正直に真実を語るようにと教えています。

問59 第十戒とは何か。

「あなたの隣人のものを欲しがってはならない。」という戒めです。

問60、第十戒のことばの意味は？

第十戒は、自分が所有しているもので満足し、他者の物で欲を満たそうとしないようにと教えています。

●A FREE WILL BAPTIST CATECHISM

福音バプテスト宣教団『カテキズム』

◆ 制 作 者 ◆
ポール・ハリソン 博士
(Dr. Paul Harrison)

ポール・ハリソン 博士 は、北米フリー・ウイル・バプテスト（日本では福音バプテスト宣教団）の牧師であり『古典的説教総目録』（Classic Sermon Index）の制作者です。

● ポール博士からのメッセージ

17世紀の神学者、トーマス・グランサムもカテキズムを作成し『聖パウロのカテキズム』と命名しました。

今回のカテキズムも、就寝前の5分、あるいは食後の5分で一項目の学びができるように作りました。毎週、大人も子供もこの問答を暗記することをお勧めします。

子供には聖書の教義の学びとなり、大人にはすでに学んだことの良い復習になると思います。教会の様々な活動に役立つとお考えなら、遠慮なくご利用ください。

●FWB『カテキズム』日本語版

◆ 翻 訳 協 力 者 ◆
アンドリュー・スノー 氏
旭 悦 子 師

◆ 監 修 ◆
(福音バプテスト宣教団メディア出版局)
カテキズム日本語版 編集委員
ダグラス・ビショップ (米)
石 井 義 一 (日)